

平成 21 年度第 1 回中原区区民会議協働推進事業検討部会 摘録

日 時：平成 21 年 7 月 22 日（水） 午前 10 時 30 分～午後 12 時

場 所：中原区役所 5 階 505 会議室

出席者：横川部会長、松原副部会長、川連委員、佐野委員、富岡委員、本目委員
小野寺副区長、齋藤企画課長ほか区役所関係課職員

傍 聴：なし

報 道：なし

次 第

- 1 開会
- 2 中原区区民会議協働推進事業検討部会要領について
- 3 会議録確認委員の選任
佐野委員を選任
- 4 議題
 - (1) 平成 20 年度中原区協働推進事業事業評価について
資料 2、3 を用い事務局が説明
 - (2) 平成 21 年度中原区協働推進事業について
資料 4 を用い事務局が説明

主な意見

《平成 20 年度決算について》

「区民に手で花いっぱい中原事業」について、植栽場所に誰が管理しているかの立札などを設置した方が良いのではないかと。

今後検討します。（地域振興課）

「安全・安心まちづくり推進事業」について、犯罪件数は実際には減っているのか。データなどはあるのか。青色防犯灯は「冷たい」「寒い」等の声が多くあるように思うが反応はどうか。

部分的には、（犯罪は）減っている。青色防犯灯に対する「冷たい」という声があるのは確かだと思う。これから検証を進めたいと思う。（地域振興課）

「安全・安心まちづくり推進事業」について、青色防犯灯には虫が寄ってきて困るというような声もある。

「安全・安心まちづくり推進事業」について、商店街の中では、周りが明るくて意味がないように思える。

「中原区市民提案型事業」について、審査方法、基準、応募数など詳しく知りたい。

学識経験者2名、区民代表2名、行政職員3名の計7名で構成される、中原区市民提案型事業審査委員会にて審査を行っている。審査は2段階で、書類審査及び公開プレゼンテーションを実施している。昨年度はおよそ10事業の応募があり、3事業が選定された。（企画課）

「中原区市民提案型事業」について、オープンカフェのような事業は、武蔵小杉駅周辺の再開発地区において実施するのは良いと思う。

地域福祉計画の推進において、マンション住民を巻き込んだ事業がもっとあっても良いと思う。また、マンション住民の声を取り入れた事業を実施して欲しい。

マンションの住民は新聞を使った広報があまり効果的ではないように思う。商業ビジョン検討委員会では、各商店街のホームページを作ろうという動きもある。

人と人との関わりが薄くなってきている。子どもを通じた付き合いも必要ではないか。

町内会への加入促進について、不動産会社に協力を依頼した事例がある。入居条件に町内会への参加を明記したら、改善された。

子ども会も有効だと思われる。イベントなどを通じて、参加するケースもある。

町内会・自治会が、接触を持つ機会をつくることが大事ではないか。祭りやイベントには人は集まってくる。

大型マンションの場合、中に入る事が難しい事も、大きな障壁となっている。

新規住民の子育てサロンなどへの参加は多いように思う。

「携帯用AED配備事業」について、動作チェック、電池チェックは行っているのか。

年に一度行うようにしている。（企画課）

《平成21年度予算について》

協働推進事業はどこから予算が出ているのか。金額はいくらか。

区の課題解決の為に、各区一律5,500万円が市で確保されている。(企画課)

防災ネットワークエリアマップ作成事業はどのようなものか。

10年前に作成した、地図を更新するものである。道路や建物が変わっているので最新の地図データへの書き換えを行う。

白地図をベースに、各支援団体が、各々地図に必要な情報(要援護者情報)を書き込んで使う事を想定している。(地域振興課)

「中原区青少年吹奏楽コンサート」について、このコンサートは20周年記念となっている。是非多くの方に参加して欲しい。

誰でも参加出来る大会は必要だと思う。子どものやる気も出るし、教育的にも良いと思う。

全体的に見て、新規事業が少ないように思う。新しい課題にも力を入れて欲しい。市民提案型事業を活用し、新規事業の発掘なども検討してみてはどうか。

以上